

愛媛県歴史文化博物館

No.49

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News



平成18年度テーマ展

おひなやま

SPRING EVENT

おひなさま気分を満喫♪

TOPICS [常設展示室より]

発掘 南予の遺跡～身近な歴史を見て・ふれる？～

学芸員調査ノート

- 伊達宗城日記
- 三越カタログ
- 南予地域の弥生土器
- 御殿玩具 犬

INFORMATION

- 展示スケジュール
- 利用のご案内

おひなさま



明治天皇・皇后変わり雛 明治41年 個人蔵・当館保管

春の訪れとともに、三月三日のおひなさまを飾る上巳（じょうし）の節句がめぐってきます。上巳の節句は、けがれを祓い人形を流す風習と平安時代の貴族の女兒の人形遊びとが結びついて始まったと考えられています。最初は簡素な人形でしたが、江戸時代に年中行事としてひなまつりが定着すると、次第に凝ったつくりになり、付属の人形も増えて華やかなものになっていきました。

当館では今年もひなまつりを祝って、公家の一家から嫁ぎ、西条藩九代藩主松平頼学夫人となつた通子の雛飾りを中心に展示します。展示室では通子の気品高い有職雛をはじめ、享保雛、古今雛、御殿飾り、変わり雛など多彩なおひなさまの姿を紹介します。また、今年度当館に寄贈された小さな愛らしい御所人形の数々や加茂人形、御殿玩具を初公開します。さらに、おひなさまと関連して、それぞれの時代の女の子が遊んだ人形や台所道具、ままごと道具もあわせて展示します。春のおだやかな一時、博物館の愛らしいおひなさまをどうぞお楽しみください。

春

の訪れとともに、三月三日のおひなさまを飾る上巳（じょうし）の節句がめぐってきます。上巳の節句は、けがれを祓い人形を流す風習と平安時代の貴族の女兒の人形遊びとが結びついて始まったと考えられています。最初は簡素な人形でしたが、江戸時代に年中行事としてひなまつりが定着すると、次第に凝ったつくりになり、付属の人形も増えて華やかなものになっていきました。



御殿玩具 犬



御所人形（饅頭喰い）



毛植人形 犬



御所人形（立ち姿）



加茂人形（二股大根持ち）



台所道具 明治～大正時代 当館蔵

2月20日[火]～4月8日[日]

開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 毎週月曜日
 但し、3月5日[月]、4月2日[月]は開館
 3月6日[火]、4月3日[火]は休館
 観覧料 常設展示観覧料が必要です

観覧料	大人（高校生以上）	小・中学生
常設展示	500円（400円）	無料

*（ ）内は20名以上の団体料金
 *65歳以上の方は無料



御所人形（頭巾被り座姿） 江戸時代 当館蔵

3/3 [土] ①13:00~
4 [日] ②13:00~15:00



体験してみよう!

各日
先着10名

じゅうにひとえ きつ たいけん
①十二単着付け体験

平安時代の貴族女性の衣装「十二単」を着て
みませんか? 気分はおひなさま!?

対象: 小学生 (申込不要・参加費無料)

※写真撮影は可能です。カメラをご持参ください。



合貝 (あわせがい)
江戸時代後期/当館蔵

おひなさま
気分を満喫♪



作ってみよう!

かいあ
②貝合わせをつくろう

はまぐりの貝がらに絵を描いて、自分だけの
オリジナル貝合わせをつくってみましょう。

(申込不要・材料代200円)

Topics

発掘 南予の遺跡

～身近な歴史を見て・ふれる?～



上井遺跡出土弥生土器

- 会場: 考古展示室
- 展示内容と主な展示資料
旧石器時代から近代にいたる17遺跡の調査成果を紹介します。
・四国最古の石器群-伊予市双海町東峰遺跡第4地点-
・大洲盆地を見下ろす山城-大洲市元城跡-
・時代のものさしになる弥生土器が出土-西予市宇和町上井遺跡-
・縄文時代の石器製作跡-宇和島市津島町犬除遺跡2次調査-
・戦国南予の戦乱-宇和島市正徳ヶ森城跡・岩倉城跡・角ヶ谷城跡・長松寺城跡-
- ミュージアムトーク (展示解説会)
当館学芸員が展示資料についてわかりやすく解説します。
日時: 2月25日[日]・3月18日[日] 各日15:00~



土器パズルに挑戦!



土器・ドキさわってみよう!

県南西部の南予地域では、この10数年の間に高速道路建設や史跡整備に伴い多くの遺跡の発掘調査が行われています。今回の展示では、(財)愛媛県埋蔵文化財調査センターが発掘調査を実施した遺跡を中心に、調査成果をわかりやすく紹介しています。これらの調査成果は、南予地域の歴史を検討する上で新しい資料ばかりです。展示室内には、発掘で出土した土器をさわるコーナーもあります。この機会に地域の身近な歴史資料を見て・ふれてみませんか?

歴史・文書

民俗

考古

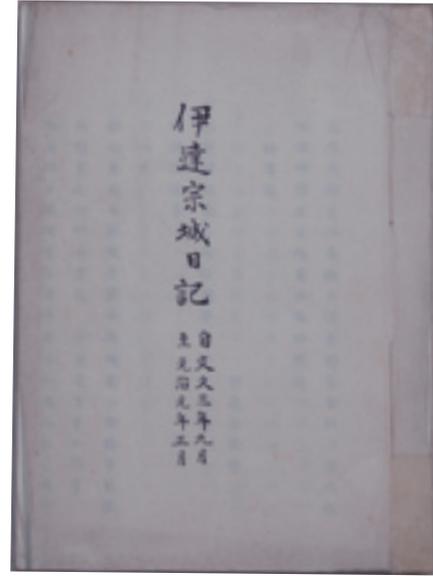
(学芸課長 藤田正)

伊達宗城日記

だてむねなりにつき

資料名

年代



サイズ

縦 27.5 cm × 横 20 cm

所蔵

当館蔵

この資料は、宇和島藩八代藩主伊達宗城の自筆日記を明治期以降に筆写したものと考えられます。伊達宗城の自筆日記の原本は、宇和島市の(財)伊達文化保存会に保管されています。宗城が上京して幕政・朝政に大きな政治的影響力を及ぼした文久二(一八六二)年から慶応三(一八六七)年の在京日記は資料的価値が際立って高いため、大正五(一九一六)年に日本史籍協会から『伊達宗城在京日記』全一冊として刊行されています。

この筆写日記はまさにこの在京期間の宗城の政治活動を記録したものであり、文久三(一八六三)年八月十八日の政変後から元治元(一八六四)年正月までの約五カ月間の緊迫した政治情勢を如実に伝える内容となっています。過激な尊王攘夷派の公家を追放した後、あるべき公武合体をめぐる朝廷・幕府・有力諸藩がせめぎ合う様子を生々しく記述しており、興味が尽きません。

三越カタログ

みつこし

資料名

年代



サイズ

縦 26 cm × 横 18.6 cm

所蔵

当館蔵

通信販売は好きですか？お店に行かなくても色々選べて、便利で楽しいですよ。本資料は昭和五年二月に百貨店「三越」より発行されたカタログです。遠方の顧客を主な対象とし、月に一回発行されました。カタログの内容は、定番商品と季節商品の組み合わせで、きものや背広、ベビー・子ども用品などが年間を通じて紹介されています。本資料の二月号では、新学期用の文房具や通学服の季節商品が見られます。当館では昭和三年から昭和一六年

までの三二冊を所蔵していますが、昭和九年以降のカタログは「附録」と名称が変わり、内容にも「ステール小紋」や「慰問品セット」といった時代を感じさせる商品も見られるようになります。大正・昭和初期の百貨店の出現は、当時の都市における生活文化を容れさせ、さらに、このようなカタログによって地方の生活文化にも影響を及ぼしました。カタログからは具体的な「商品」が写真や解説を通して把握でき、大変興味深い資料です。

(学芸員 松井寿)

*三越カタログは民俗展示室2(愛媛の暮らし)に展示しています。



資料名
南予地域の弥生土器

出土地

西予市宇和町上井遺跡出土

年代

弥生時代後期

サイズ

(左端の土器) 高さ五三 cm

所蔵

愛媛県教育委員会蔵・当館保管

西予市宇和町岩木地区はこの十数年間に継続して発掘調査が行われ、多くの成果が蓄積されている南予地域(県南西部)でも数少ない地域の一つです。

上井遺跡では平成八(一九九六)年〜十(一九九八)年にかけて道路拡幅工事に伴い発掘調査が行われました。その結果、弥生時代から古代にかけての溝・土坑・柱穴などが確認されています。特に溝SD・7・8からは一括してすてられた弥生時代後期の土器が大量に見つかっています。

ます。壺・甕・鉢・高坏という組合せが確認され、南予地域の土器編年(時代のものさし)の指標となる資料です。土器の形を見てみると、頸の部分が高い壺(写真右端)や坏の部分膨らんだ高坏(写真右から四点目)などは、県内の他地域では見ることのないもので、この地域の土器づくりの特徴を示すものと思われまます。今後の継続した調査と研究によりこの地域の弥生土器の特徴が少しずつ明らかになることでしょう。

(主任学芸員 富田尚夫)



資料名
御殿玩具 犬

年代

江戸時代後期〜明治時代

サイズ

高さ八 cm

所蔵

当館蔵

手のひらサイズの張り子の犬。この豪華な張り子玩具は、公家や大名家の雛飾りの中によく見受けられることから、近代になって御殿玩具との名称がついたといわれています。張り子のボディに胡粉を塗り、その上に金色を塗り重ね、大和絵風の華やかな草花を描いて彩りを加えた上質な作りに、ひときわ目を見張りま

す。この玩具は手に持って振ると、赤い縮緬の首輪に付けた鈴の「チリチリ」という音と共に「カラカラ」と

柔らかい音が響きます。これも御殿玩具の特徴の一つで、体の中に玉が仕込まれ、幼児の玩具「ガラガラ」として使用されていたことがうかがえます。

犬はお産が軽いことから、古くから安産や子どもの成長を願って産室に犬笛を飾る風習があり、人々にとって身近なモチーフでした。丸みのある愛らしいしぐさを表現した子犬の姿は、子どもだけでなく、上流階級の女性たちの目も楽しませていたでしょう。

(主任学芸員 宇都宮美紀)

*南予地域の弥生土器は考古展示室に展示しています。
*御殿玩具 犬はテーマ展「おひなさま」にて展示します。

歴史文化博物館友の会

3月1日より

平成19年度 新規会員募集します。

友の会は、愛媛の歴史や民俗について
学び親しむ人たちの集まりです。



[会員特典]

- 常設展が無料になります。
年2回開催予定の企画展も無料。
- 会報や歴博だよりをお届けします。
友の会や博物館のイベント情報もお届けします。
- 友の会主催事業に参加できます。
現地学習会や研修旅行、企画展解説会などを開催。季節イベントの材料代などが無料になります。
- 刊行物が2割引でお求めいただけます。
- クラブ活動を実施しています。
中世・民俗・考古の3クラブが活動中。
気になる分野をより深く学ぶことができます。

[入会方法]

詳しくは、友の会事務局にご連絡ください。
入会申込書をお送りいたします。
また、博物館総合案内にて受け付けています。

〈友の会事務局〉
電話 (0894)62-6222

年会費 (4月～翌年3月)

【小中学生会員】	500円
【高校生会員】	1,000円
【大人会員】	3,000円
【家族会員】	4,000円
【賛助会員】	10,000円

展示スケジュール2007.2-9

2	3	4	5	6	7	8	9
常設展示：えひめの歴史と文化							
2月20日[火]～4月8日[日]			4月下旬～6月上旬		7月中旬～9月上旬		
テーマ展 「おひなさま」			テーマ展(予定) 「紙モノ大図鑑」 (仮称)		企画展(予定) 「異界・妖怪大博覧会」 (仮称)		
3月3日[土]、4日[日] ひなまつりイベント			5月3日[木]～5日[土] こどもの日イベント		7月下旬～8月の土日(予定) 夏休みイベント		

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

利用のご案内

■開館時間

午前9時→午後5時
(但し入館は閉館の30分前まで)

■観覧料 (常設展示)

大人：500円 (400円)
小・中学生 / 65歳以上：無料
※()内は20名以上の団体料金

■交通案内

○自動車
＜松山自動車道＞松山ICから西予宇和IC経由で約50分
○公共交通機関
＜JR＞JR松山駅から(特急約1時間)JR卯之町駅下車、JR卯之町駅から徒歩(遊歩道利用)で約20分、車で約5分
＜宇和島自動車＞JR卯之町駅から歴史文化博物館行きバス博物館前下車



Museum Calendar 2007.2-5

● 休館日

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3	*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	*	*	*	25	26	27	28	29	30	31
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	*	*	1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30	*	*	*	*	*	27	28	29	30	31	*	*
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*